

# 2021年度 決算説明資料

2022年5月13日

旭化成株式会社

**業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項**

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

# 決算のポイント

## 2021年度実績

- COVID-19による影響からの回復により、前期比では大幅な増収・増益を達成
- 前回予想（2022年2月発表）比では、半導体不足やCOVID-19影響の長期化に伴うサプライチェーンの混乱、原燃料価格高騰等の影響を受け、営業利益は下振れ

## 2022年度業績予想

- 基盤マテリアル事業等の減益を、自動車内装材事業の回復や、成長牽引事業（10のGrowth Gears、以下GG10\*詳細はP41参照）の順調な推移によりカバー、前期比で増益を見込む
- 半導体不足の更なる長期化、ロシア・ウクライナ情勢、COVID-19感染再拡大、更なる原燃料価格高騰等による経営環境の変化についてはリスクとして注視
- 新中期経営計画の2024年度目標達成に向け、GG10への投資等の実行計画を積極的に遂行する

## 株主還元

- 2021年度の年間配当は34円、前中期経営計画3年間（2019～2021年度）累計の配当性向は41.0%
- 2022年度の年間配当は36円を予想、業績等を見ながら自己株取得も含め更なる還元拡充を検討

## 1. 2021年度実績

P5	2021年度実績（連結）
P6～7	2021年度実績（セグメント別営業利益）
P8	営業利益構成の変化（2018年度との比較）
P9	営業利益の増減要因分析
P10	売上高・営業利益増減内訳
P11～12	事業別売上高・営業利益
P13	海外売上高
P14	連結損益計算書
P15	特別損益
P16	連結貸借対照表
P17	連結キャッシュ・フロー計算書

## 2. 2022年度業績予想

P19	2022年度業績予想（連結）
P20	2022年度業績予想（セグメント別営業利益）
P21	開示区分の変更
P22～23	事業別売上高・営業利益予想
P24	重要な経営指標の推移
P25	株主還元

## 3. 参考資料

P27～35	セグメント別概況
P36	設備投資額、減価償却費、研究開発費
P37	主な設備投資案件
P38	トピックス（2021年4月以降）
P39～40	四半期売上高・営業利益推移
P41	新中期経営計画における成長牽引事業（GG10）
P42	注記



# 1. 2021年度実績

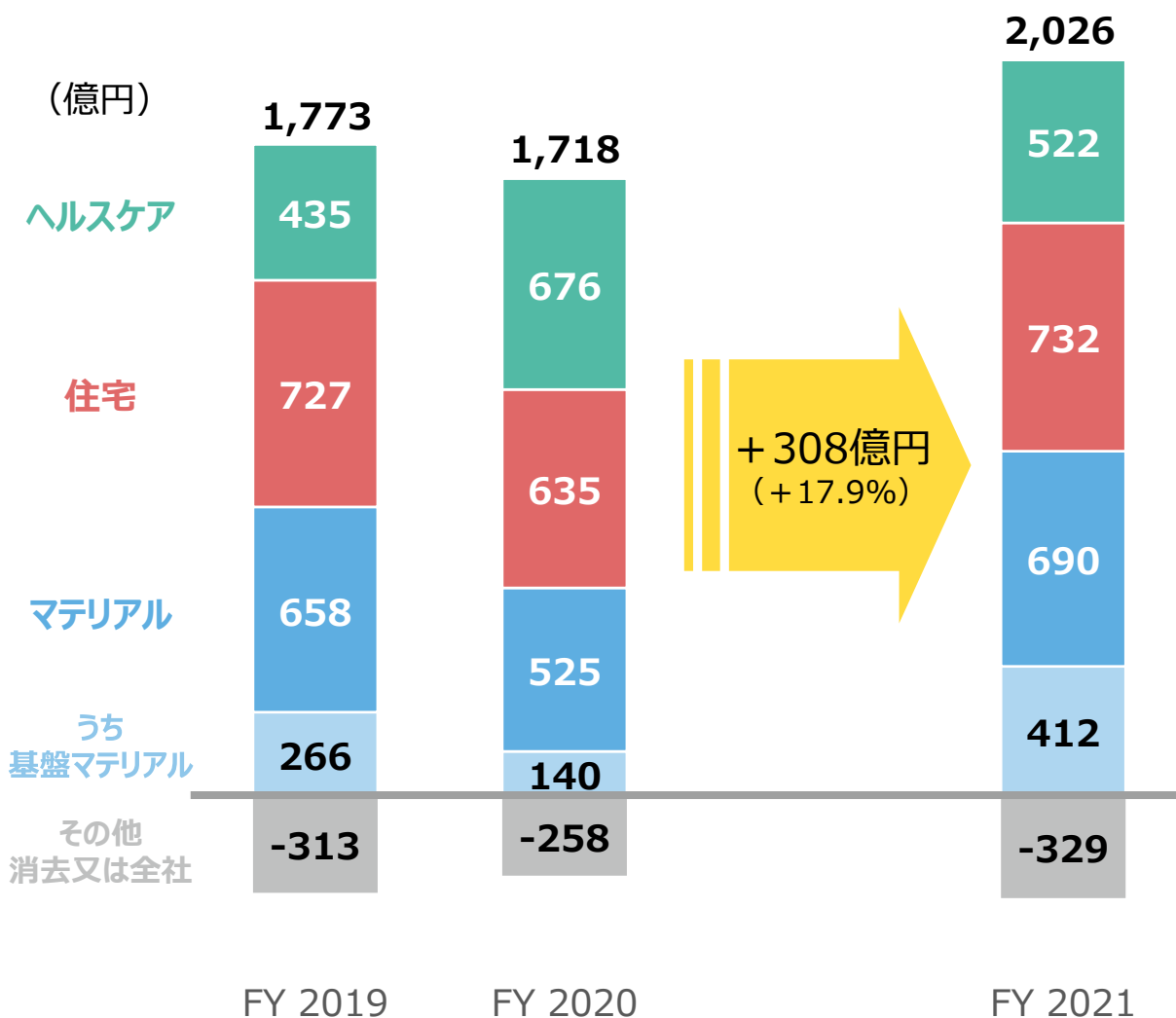
# 2021年度実績（連結）

- COVID-19による影響を大きく受けた前期と比べ、大幅な増収・増益  
当期純利益は、特別損益の改善に加え、Veloxis再編に伴う税金費用の減少により、前期比で倍増
- 前回予想比では、さまざまな経営環境変化の影響を受け、営業利益は下振れ  
当期純利益は、Veloxis再編に伴う税金費用の戻りが2022年度にずれ込み、大きく下振れ

		2020年度	2021年度	前期比 増減率	2021年度 前回予想 (2022年2月発表)	前回予想比 増減率
売上高	(億円)	21,061	24,613	16.9%	24,530	0.3%
営業利益	(億円)	1,718	2,026	17.9%	2,131	-4.9%
売上高営業利益率		8.2%	8.2%		8.7%	
EBITDA	(億円)	3,051	3,508	15.0%		
売上高EBITDA率		14.5%	14.3%			
親会社株主に帰属する 当期純利益	(億円)	798	1,619	102.9%	1,855	-12.7%
EPS	(円)	57.49	116.68		133.70	
のれん償却前EPS	(円)	75.44	137.14			
相場平均為替レート (USD)		106円	112円		111円	
相場平均為替レート (ユーロ)		124円	131円		130円	

# 2021年度実績（セグメント別営業利益：前期比）

- COVID-19による影響を大きく受けた前期から、需要の回復に伴い「マテリアル」が大幅な増益となったことに加え、「住宅」も海外事業の伸びや建築請負部門における収益性向上の取り組みにより増益



## 営業利益増減の主な要因

### ヘルスケア

COVID-19影響により前期に需要が急増した人工呼吸器の販売数量が世界的な需給バランスの正常化に伴い大幅に減少したが、除細動器等クリティカルケア事業の主力事業が好調に推移し、**減益幅は抑えられた**。医薬・医療事業では、主力製品の販売が堅調に推移したが、ライセンス導入等の将来の成長に向けた施策により販管費が増加した

### 住宅

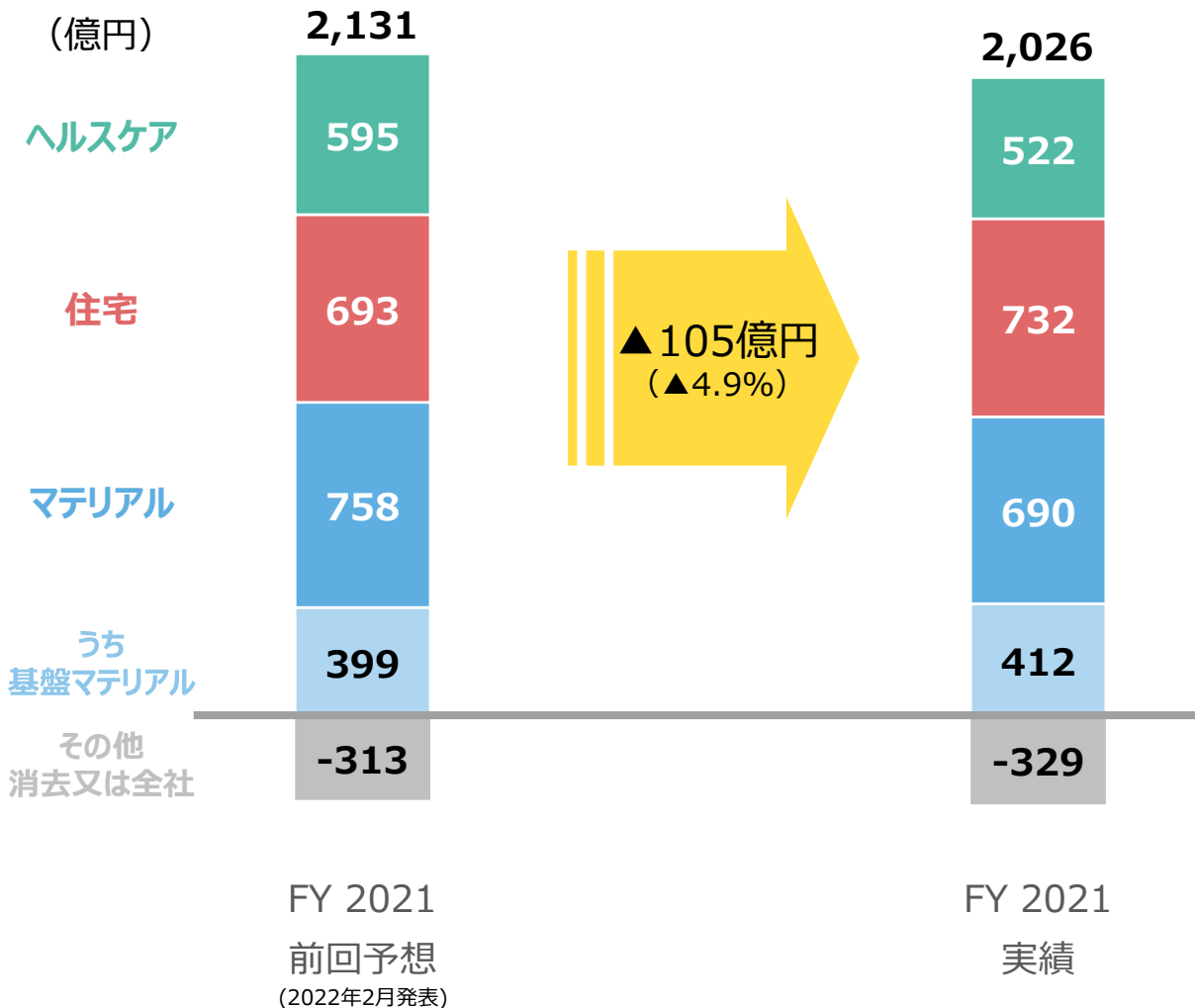
北米事業が木材価格変動に伴い大幅に増益したことに加え、建築請負部門で、COVID-19影響による前期の受注減や原材料価格高騰の影響を受けたものの、物件の大型化・高付加価値化が進んだことにより、**増益**

### マテリアル

自動車関連市場の回復に伴うエンジニアリング樹脂等の販売数量増加および原材料価格高騰に伴う価格転嫁、半導体市況の活況を背景としたデジタル関連ソリューション事業（電子部品、電子材料）の販売数量増加に加え、需要回復等を背景として石化製品市況が急速に上昇したことなどから、**大幅な増益**

# 2021年度実績（セグメント別営業利益：前回予想比）

- ▶ 半導体不足やCOVID-19影響の長期化に伴うサプライチェーンの混乱、原燃料価格高騰等の影響を受け、営業利益は下振れ



## 営業利益増減の主な要因

### ヘルスケア

クリティカルケア事業において、半導体不足やCOVID-19影響に伴うサプライチェーンの混乱による部材調達への影響や出荷遅延等の要因があったことに加え、医薬・医療事業において販管費が増加したことにより、**営業利益は下振れ**

### 住宅

建築請負部門において、住宅設備の欠品による影響を見込んだものの、順調に物件の引渡しが進んだことから、**営業利益は上振れ**

### マテリアル

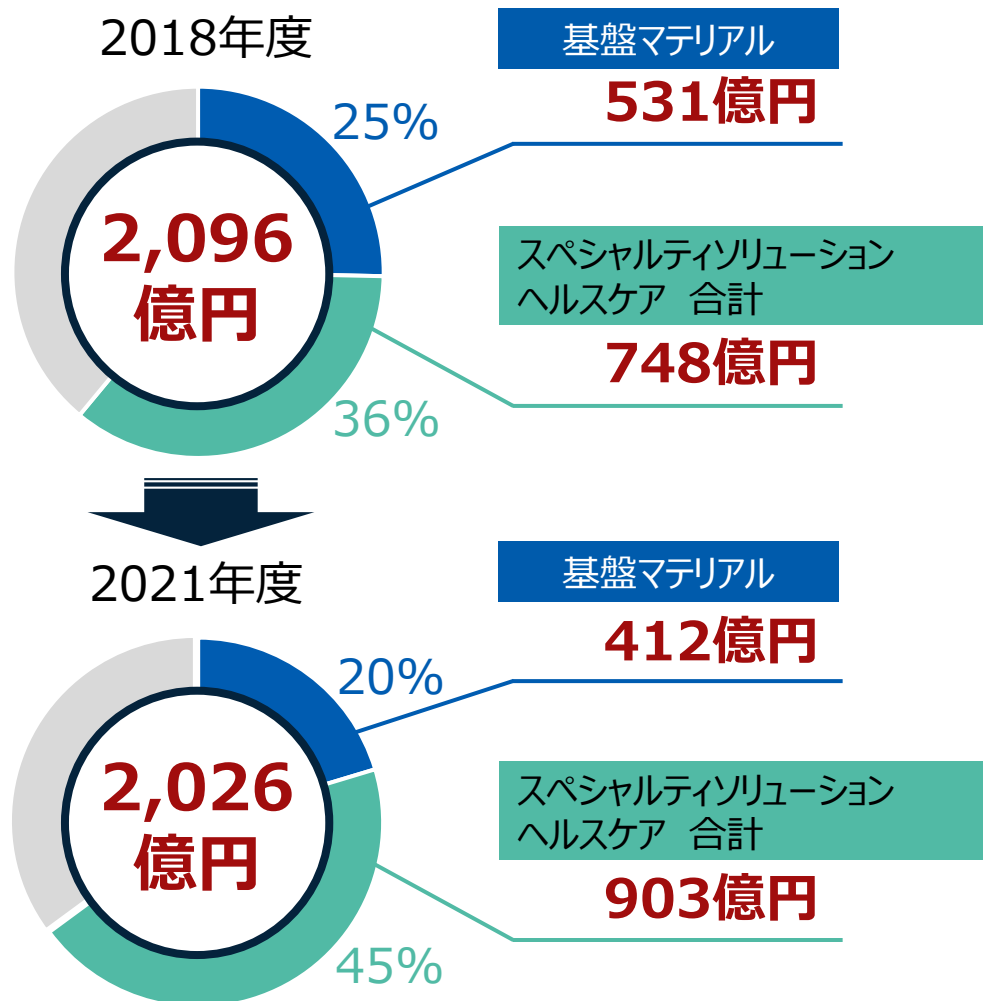
半導体不足やロシア・ウクライナ情勢の影響により、自動車生産の回復が予想よりも遅れ、自動車内装材事業やセパレータ事業等が影響を受けたことに加え、原燃料価格高騰の影響を受け、**営業利益は下振れ**



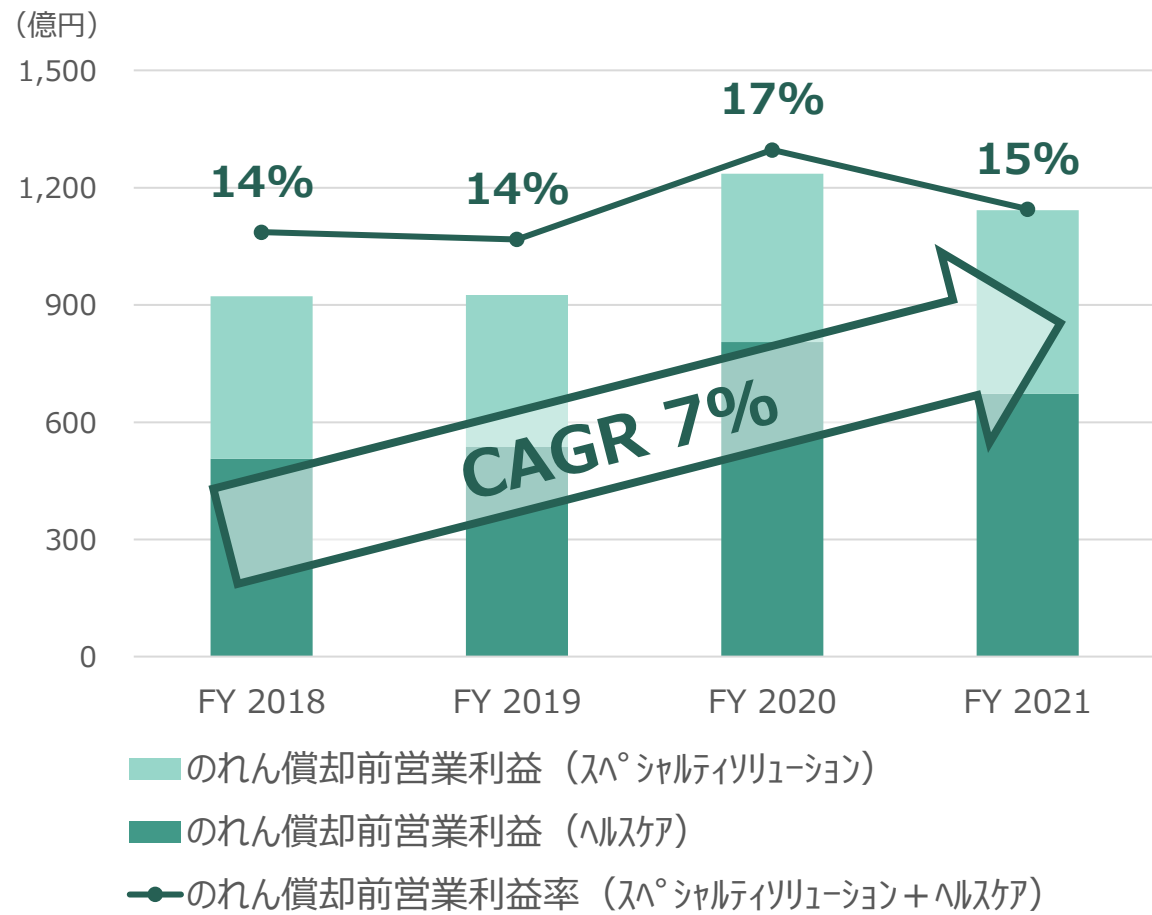
# 営業利益構成の変化（2018年度との比較）

➤ 前中期経営計画の3年間では、汎用石化事業（基盤マテリアル）の割合は低下した一方、高付加価値型事業（スペシャルティソリューション、ヘルスケア）の業績が拡大、事業ポートフォリオの転換は着実に進展

## ■グループ全体の営業利益構成の変化



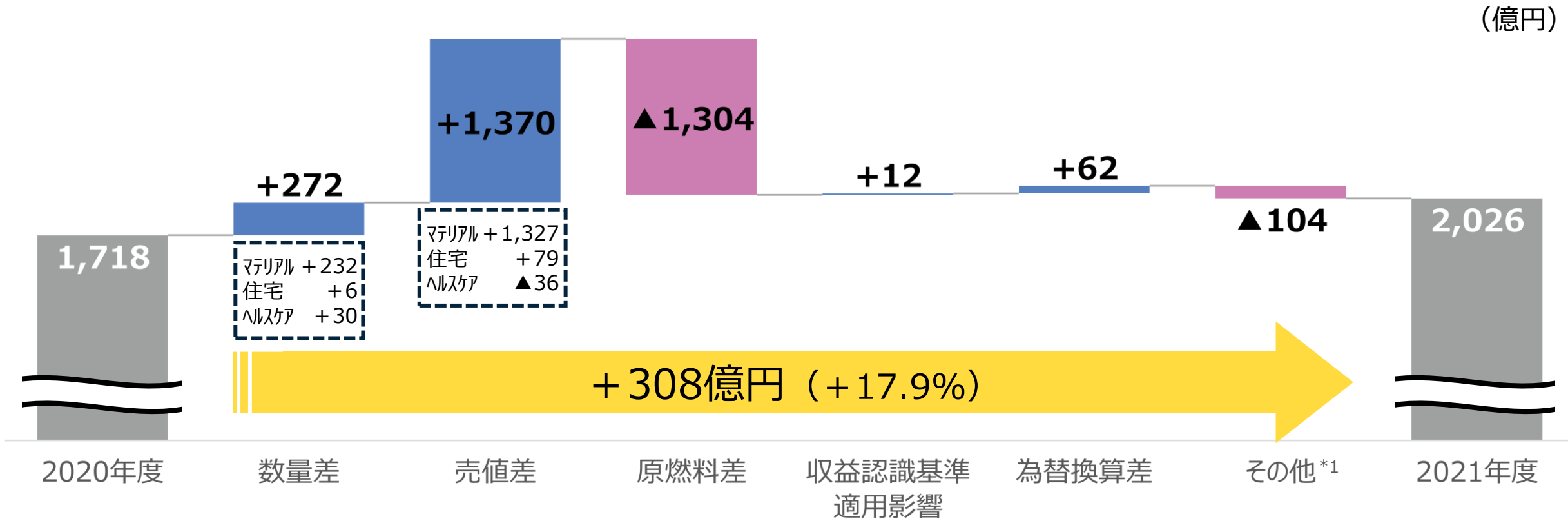
## ■のれん償却前営業利益・利益率推移 （スペシャルティソリューション、ヘルスケア）





# 営業利益の増減要因分析（前期比）

- 数量差は、COVID-19からの回復を受け、「マテリアル」を中心にプラス
- 「マテリアル」における市況上昇を背景とした価格転嫁や、「住宅」の建築請負部門における物件の大型化・高付加価値化の推進等による売値差のプラスが、原燃料価格上昇の影響を上回り、交易条件は改善



\*1 固定費差、在庫影響、新規連結影響等

# 売上高・営業利益増減内訳

(億円)

		2020年度	2021年度	増減額	増減率	内訳				
						数量差	売値差	うち為替因	収益認識基準 適用影響	その他差
マテリアルセグメント	売上高	9,912	11,982	2,070	20.9%	712				
	営業利益	665	1,103	438	65.9%	232	1,327	215	-384	415
基盤マテリアル	売上高	2,689	3,661	973	36.2%	377				
	営業利益	140	412	273	194.9%	62	784	26	-251	63
パフォーマンス プロダクト	売上高	3,756	4,607	851	22.7%	188				
	営業利益	186	338	152	81.4%	104	453	101	-25	236
スペシャルティ ソリューション	売上高	3,072	3,326	254	8.3%	112				
	営業利益	348	381	33	9.5%	67	90	89	-65	117
マテリアル共通	売上高	396	388	-8	-1.9%	35				
	営業利益	-10	-29	-19	-	-1	-	-	-43	-
住宅セグメント	売上高	6,926	8,334	1,407	20.3%	260				
	営業利益	635	732	96	15.1%	6	79	-	8	1,061
住宅	売上高	6,448	7,865	1,417	22.0%	254				
	営業利益	597	706	110	18.4%	7	79	-	24	1,061
建材	売上高	478	468	-10	-2.2%	6				
	営業利益	37	25	-12	-32.2%	-1	0	-	-16	-
ヘルスケアセグメント	売上高	4,079	4,159	80	2.0%	-35				
	営業利益	676	522	-154	-22.8%	30	-36	-3	-2	153
医薬・医療	売上高	1,544	1,742	198	12.8%	189				
	営業利益	230	218	-11	-5.0%	121	-25	2	-2	36
クリティカルケア	売上高	2,535	2,417	-118	-4.6%	-224				
	営業利益	446	303	-143	-32.0%	-91	-11	-5	-	117
その他	売上高	143	138	-4	-3.1%	-4				
	営業利益	38	32	-6	-14.6%	4	-	-	0	-0
消去又は全社	営業利益	-296	-362	-66	-	-	-	-	-	-66
合計	売上高	21,061	24,613	3,553	16.9%	932				
	営業利益	1,718	2,026	308	17.9%	272	1,370	212	-379	1,629
								12	-1,346	

	2020年度		2021年度		前期比 増減額	前期比 増減率	(億円)				
	上期	下期	上期	下期			2021年度 前回予想 (2022年2月発表)	前回予想比 増減額	前回予想比 増減率		
マテリアルセグメント	9,912	4,384	5,529	11,982	5,703	6,280	2,070	20.9%	11,920	62	0.5%
基盤マテリアル	2,689	1,167	1,522	3,661	1,681	1,980	973	36.2%	3,530	131	3.7%
パフォーマンスプロダクト	3,756	1,589	2,167	4,607	2,208	2,399	851	22.7%	4,650	-43	-0.9%
スペシャルティソリューション	3,072	1,446	1,626	3,326	1,628	1,697	254	8.3%	3,350	-24	-0.7%
マテリアル共通	396	182	214	388	186	203	-8	-1.9%	390	-2	-0.4%
住宅セグメント	6,926	3,387	3,539	8,334	3,981	4,352	1,407	20.3%	8,240	93	1.1%
住宅	6,448	3,144	3,304	7,865	3,758	4,107	1,417	22.0%	7,760	105	1.4%
建材	478	243	235	468	223	245	-10	-2.2%	480	-12	-2.6%
ヘルスケアセグメント	4,079	2,049	2,030	4,159	2,059	2,100	80	2.0%	4,230	-71	-1.7%
医薬・医療	1,544	743	801	1,742	853	888	198	12.8%	1,760	-18	-1.0%
クリティカルケア	2,535	1,306	1,229	2,417	1,205	1,212	-118	-4.6%	2,470	-53	-2.1%
その他	143	75	68	138	67	71	-4	-3.1%	140	-2	-1.2%
合 計	21,061	9,894	11,167	24,613	11,810	12,803	3,553	16.9%	24,530	83	0.3%

# 事業別営業利益

(億円)

	2020年度			2021年度			前期比 増減額	前期比 増減率	2021年度 前回予想 (2022年2月発表)	前回予想比 増減額	前回予想比 増減率
	上期	下期	上期	下期	上期	下期					
マテリアルセグメント	665	208	456	1,103	607	496	438	65.9%	1,157	-54	-4.7%
基盤マテリアル	140	1	139	412	224	188	273	194.9%	399	14	3.4%
パフォーマンスプロダクト	186	48	138	338	172	166	152	81.4%	383	-45	-11.8%
スペシャルティソリューション	348	152	196	381	235	147	33	9.5%	397	-15	-3.9%
マテリアル共通	-10	7	-17	-29	-24	-5	-19	-	-22	-7	-
住宅セグメント	635	317	319	732	333	398	96	15.1%	693	39	5.6%
住宅	597	294	303	706	320	386	110	18.4%	660	46	6.9%
建材	37	24	13	25	13	12	-12	-32.2%	32	-7	-21.6%
ヘルスケアセグメント	676	354	322	522	343	179	-154	-22.8%	595	-73	-12.3%
医薬・医療	230	108	121	218	136	83	-11	-5.0%	236	-18	-7.6%
クリティカルケア	446	246	201	303	207	96	-143	-32.0%	359	-55	-15.4%
その他	38	17	21	32	14	19	-6	-14.6%	28	5	16.4%
消去又は全社	-296	-129	-167	-362	-165	-196	-66	-	-341	-21	-
合計	1,718	768	950	2,026	1,131	895	308	17.9%	2,131	-105	-4.9%

(億円)

	2020年度		2021年度		前期比 増減額	前期比 増減率
	海外売上高	海外売上高比率	海外売上高	海外売上高比率		
マテリアルセグメント	5,624	56.7%	7,225	60.3%	1,600	28.5%
基盤マテリアル	1,250	46.5%	1,769	48.3%	519	41.5%
パフォーマンスプロダクツ	2,286	60.9%	3,095	67.2%	809	35.4%
スペシャルティソリューション	2,063	67.2%	2,324	69.9%	261	12.6%
マテリアル共通	24	6.2%	36	9.4%	12	49.4%
住宅セグメント	251	3.6%	1,463	17.6%	1,212	-
住宅	251	3.9%	1,463	18.6%	1,212	-
建材	0	0.0%	0	0.0%	-0	-35.4%
ヘルスケアセグメント	3,125	76.6%	3,141	75.5%	16	0.5%
医薬・医療	616	39.9%	751	43.1%	135	22.0%
クリティカルケア	2,510	99.0%	2,390	98.9%	-120	-4.8%
その他	18	12.5%	16	11.4%	-2	-11.4%
合 計	9,018	42.8%	11,844	48.1%	2,826	31.3%
<b>地域別海外売上高</b>						
アジア	4,142	19.7%	5,218	21.2%	1,076	26.0%
(内、中国)	1,989	9.4%	2,387	9.7%	398	20.0%
米州	3,359	15.9%	3,894	15.8%	535	15.9%
欧州	1,249	5.9%	1,531	6.2%	281	22.5%
その他海外	268	1.3%	1,202	4.9%	934	-

- 販管費 : 前期比で、McDonald Jones等の新規連結影響に加え、物流費、研究開発費等が増加
- 営業外損益 : 前期比で、PTT旭ケミカルの業績改善等により持分法投資損益が改善
- 特別損益 : 前期比で、政策保有株式の売却益の増加、半導体工場火災関連費用の低減等により改善
- 法人税等 : Veloxis再編に伴い税金費用が軽減

(億円)

	2020年度		2021年度		増減額	増減率
		売上高比率		売上高比率		
売上高	21,061	100.0%	24,613	100.0%	3,553	16.9%
売上原価	14,253	67.7%	16,915	68.7%	2,662	18.7%
売上総利益	6,807	32.3%	7,698	31.3%	891	13.1%
販管費	5,089	24.2%	5,671	23.0%	582	11.4%
営業利益	1,718	8.2%	2,026	8.2%	308	17.9%
営業外損益	62		94		32	
(内、持分法投資損益)	(35)		(89)		(54)	
経常利益	1,780	8.5%	2,121	8.6%	340	19.1%
特別損益	-271		31		302	
税前利益	1,509	7.2%	2,151	8.7%	642	42.6%
法人税等	-688		-513		175	
非支配株主に帰属する当期純利益	-23		-20		4	
親会社株主に帰属する当期純利益	798	3.8%	1,619	6.6%	821	102.9%

(億円)

	2020年度	2021年度	増減
投資有価証券売却益	173	265	92
固定資産売却益	4	9	6
受取保険金	-	38	38
段階取得による差益	-	17	17
特別利益	177	329	153
投資有価証券評価損	1	5	4
固定資産処分損	106	75	-31
減損損失	19	68	49
火災損失	223	-	-223
製品補償損失	21	-	-21
事業構造改善費用	77	150	73
特別損失	448	299	-149
特別損益	-271	31	302



# 連結貸借対照表

- 総資産 : 市況上昇や円安による売上債権、棚卸資産の増加に加え、買収に伴いのれんや無形固定資産を計上
- 負債 : 有利子負債の増加に加え、市況上昇や円安に伴い仕入債務が増加
- 純資産 : 当期純利益の計上に伴い利益剰余金が増加、円安に伴いその他の包括利益累計額（為替換算調整勘定）が増加

	2021/3月末	2022/3月末	増減		2021/3月末	2022/3月末	増減
流動資産	11,368	13,342	1,974	負債	14,244	16,303	2,059
現金及び預金	2,218	2,446	229	流動負債	7,032	9,239	2,207
受取手形、売掛金及び契約資産	3,386	4,346	960	固定負債	7,212	7,064	-148
棚卸資産	4,815	5,402	588	純資産	14,945	17,188	2,243
その他	949	1,147	198	株主資本	13,359	14,594	1,235
固定資産	17,822	20,149	2,327	資本金	1,034	1,034	-
有形固定資産	7,173	8,052	880	資本剰余金	796	799	2
無形固定資産	6,944	8,368	1,425	利益剰余金	11,588	12,823	1,235
投資その他の資産	3,705	3,728	23	自己株式	-59	-62	-3
				その他の包括利益累計額	1,316	2,280	964
				非支配株主持分	271	314	43
資産合計	29,189	33,491	4,301	負債純資産合計	29,189	33,491	4,301
のれん残高	3,519	4,313	794				
有利子負債*1	6,590	7,663	1,073				
D/Eレシオ	0.45	0.45	-				

\*1 リース債務除く

# 連結キャッシュ・フロー計算書

- 営業CF： 税金等調整前当期純利益は増加したが、売上債権、棚卸資産等の運転資本が増加、前期比でキャッシュ・インが減少
- 投資CF： 前期比では、Itamar、Respicardia買収等のM&A関連のキャッシュ・アウトが増加
- 財務CF： 配当金の支払いがある一方、資金調達の実行によりキャッシュ・イン

	(億円)		
	2020年度	2021年度	増減
a. 営業活動によるキャッシュ・フロー	2,537	1,833	-704
b. 投資活動によるキャッシュ・フロー	-1,578	-2,210	-633
設備投資による支出	-1,503	-1,697	-194
M&A関連による支出	-224	-809	-585
その他	149	296	147
c. フリー・キャッシュ・フロー (a + b)	959	-377	-1,337
d. 財務活動によるキャッシュ・フロー	-959	423	1,382
e. その他	96	210	114
現金及び現金同等物の増減額 (c + d + e)	97	256	159
(参考)			
配当後フリー・キャッシュ・フロー	501	-849	-1,351



## 2. 2022年度業績予想

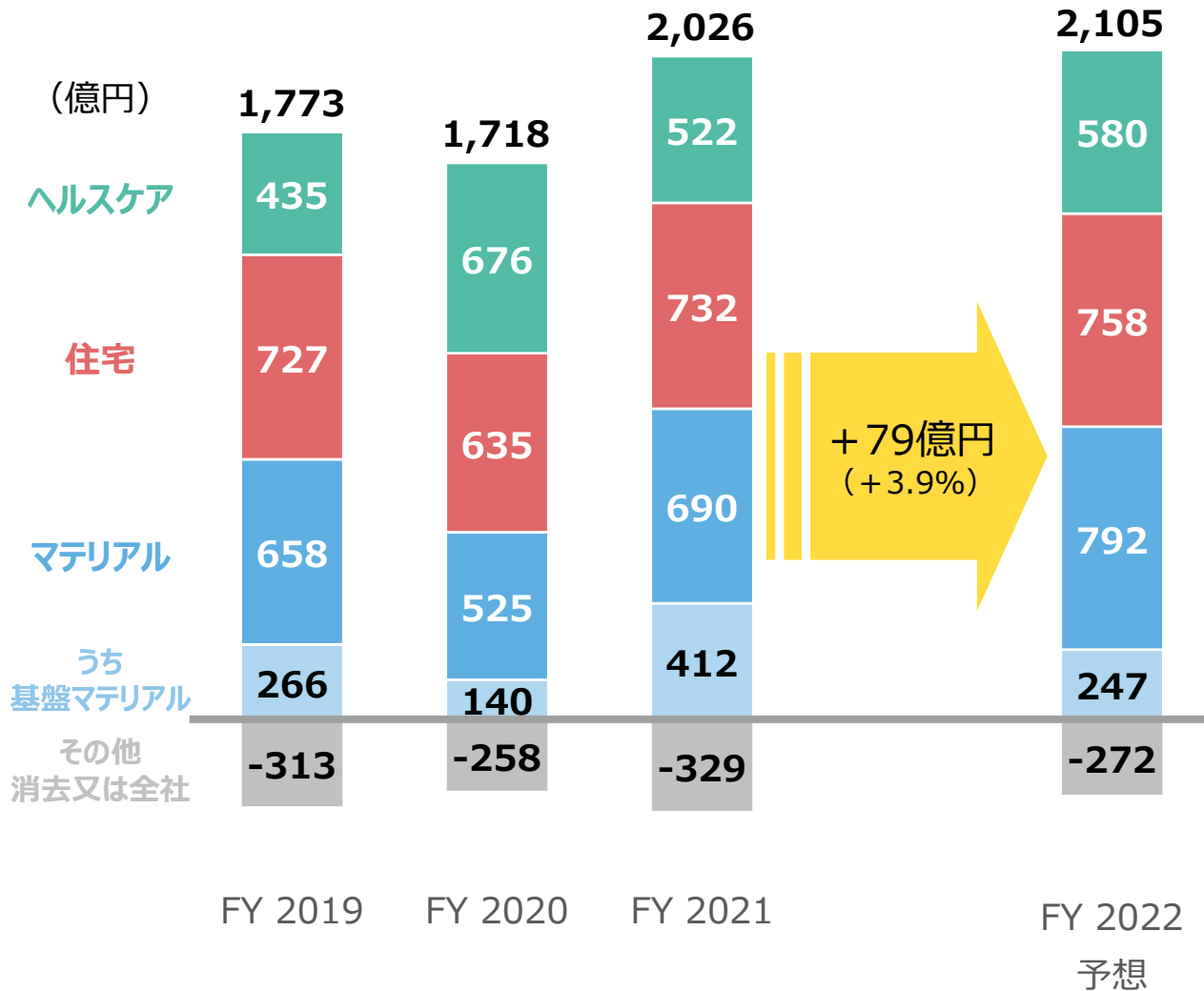
# 2022年度業績予想（連結）

- 経営環境は引き続き不透明な状況が続くものの、成長牽引事業（GG10）が順調に拡大し、当期比で増収・増益を見込む
- 新中期経営計画の2024年度目標達成に向け、GG10への投資等を積極的に実行する。4月19日に医療事業における次世代抗体医薬品CDMO事業の買収を発表

		2021年度	2022年度 予想	前期比 増減率
売上高	(億円)	24,613	27,310	11.0%
営業利益	(億円)	2,026	2,105	3.9%
売上高営業利益率		8.2%	7.7%	
EBITDA	(億円)	3,508	3,690	5.2%
売上高EBITDA率		14.3%	13.5%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	(億円)	1,619	1,645	1.6%
EPS	(円)	116.68	118.58	
のれん償却前EPS	(円)	137.14	139.63	
相場平均為替レート（USD/円）		112円	115円	
相場平均為替レート（ユーロ/円）		131円	130円	
国産ナフサ価格		56,700円/kl	70,000円/kl	

# 2022年度業績予想（セグメント別営業利益\*1：当期比）

➤ 自動車内装材事業の回復や、各領域における成長牽引事業（GG10）の順調な推移により、増益を見込む



## 営業利益増減の主な要因

### ヘルスケア

医薬事業において免疫抑制剤「Envarsus XR」を中心に主力製剤を拡販することなどにより、**増益**を見込む。

クリティカルケア事業は買収影響により営業利益は当期並みとなるが、除細動器や着用型自動除細動器「LifeVest」の引き続き堅調な成長を見込み、EBITDAでは増益を見込む

### 住宅

当期以上に資材価格等の上昇を見込むものの、コストダウンや物件の大型化・高付加価値化を推進し、建築請負部門を中心に**増益**の見込み。海外事業は、北米事業では木材価格変動に伴い増益となった当期からは減益を見込むが、豪州事業が堅調に推移する見通し

### マテリアル

基盤マテリアル事業において原燃料価格高騰に伴う交易条件の悪化や、在庫受払差による減益を見込むが、アクリロニトリル（以下、AN）は価格フォーミュラ化の進展により減益幅が抑制されることに加え、自動車生産回復に伴う自動車内装材事業の回復、セパレータの増販に加え、デジタル関連ソリューション事業（電子部品、電子材料）の成長を見込み、**当期並みの営業利益**を見込む

\*1 2019年度～2021年度については開示区分の変更（P21参照）を反映していない。

セグメント	サブセグメント	事業
マテリアル	環境ソリューション	セパレータ
		膜・システム
		合成ゴム・エラストマー
		基盤マテリアル*1
	モビリティ&インダストリアル	繊維（自動車関連）
		エンジニアリング樹脂
		機能性コーティング
	ライフイノベーション	電子材料
		電子部品
		添加剤
		化薬
		感光材
		繊維（衣料・産業資材他）
		消費財
旭化成アドバンス*2		
UVCプロジェクト		
住宅	住宅	
	建材	
ヘルスケア	医薬・医療	
	クリティカルケア	
その他		
消去又は全社		

【凡例】

- 旧 基盤マテリアル
- 旧 パフォーマンスプロダクツ
- 旧 スペシャルティソリューション
- 旧 その他／消去又は全社

本ページ以降、「2021年度<組替後>」と表示している箇所では、2021年度の実績について開示区分の変更を反映した数値を記載している。

\*1 一部の製品はモビリティ&インダストリアル事業に移管している。

\*2 パフォーマンスプロダクツ事業、マテリアル共通および建材事業に含まれていた旭化成アドバンスの業績を、併せてライフイノベーション事業に含めている。

# 事業別売上高予想

(億円)

	2021年度 ＜組替後＞	2021年度		2022年度 予想	前期比 増減額	前期比 増減率
		上期	下期			
マテリアルセグメント	12,100	5,759	6,341	13,930	1,830	15.1%
環境ソリューション	5,226	2,482	2,745	6,200	974	18.6%
モビリティ&インダストリアル	3,221	1,518	1,703	3,700	479	14.9%
ライフイノベーション	3,646	1,756	1,890	4,020	374	10.3%
マテリアル共通	7	3	4	10	3	42.1%
住宅セグメント	8,224	3,930	4,295	8,650	426	5.2%
住宅	7,865	3,758	4,107	8,250	385	4.9%
建材	359	171	188	400	41	11.4%
ヘルスケアセグメント	4,159	2,059	2,100	4,580	421	10.1%
医薬・医療	1,742	853	888	1,940	198	11.4%
クリティカルケア	2,417	1,205	1,212	2,640	223	9.2%
その他	130	63	67	150	20	15.6%
合 計	24,613	11,810	12,803	27,310	2,697	11.0%



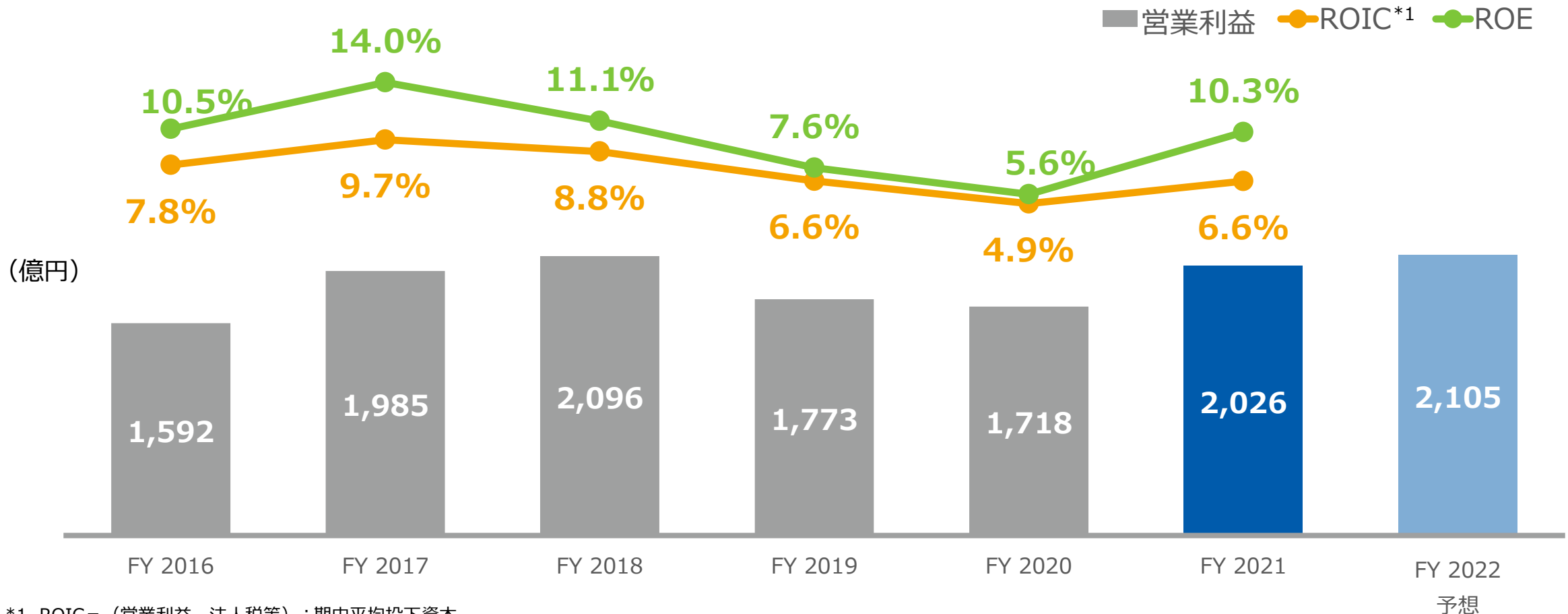
# 事業別営業利益予想

(億円)

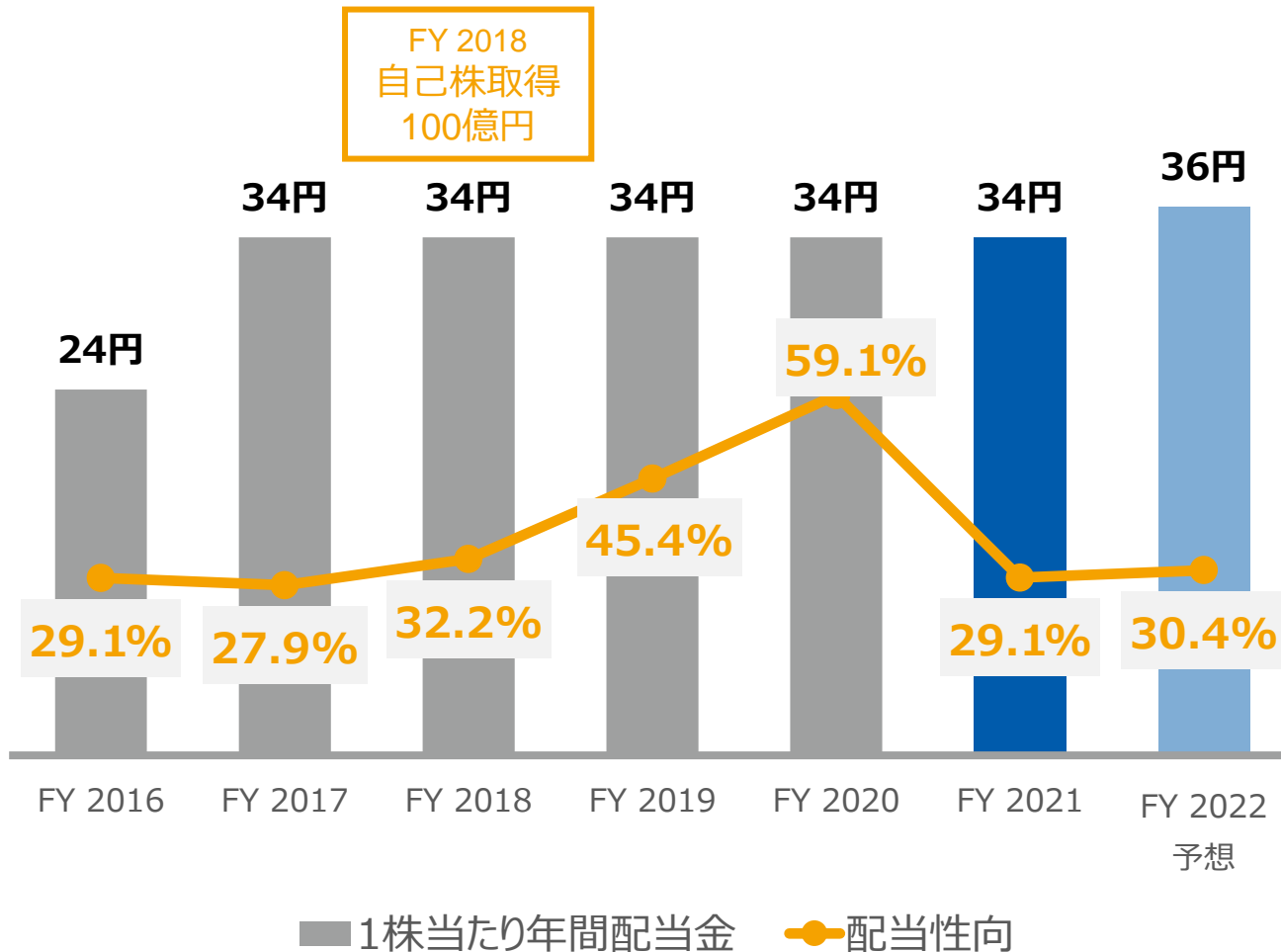
	2021年度 〈組替後〉	2021年度		2022年度 予想	前期比 増減額	前期比 増減率
		上期	下期			
マテリアルセグメント	1,060	585	474	1,039	-21	-1.9%
環境ソリューション	489	289	200	423	-66	-13.4%
モビリティ&インダストリアル	258	132	125	238	-20	-7.6%
ライフイノベーション	348	191	157	374	26	7.3%
マテリアル共通	-35	-27	-8	4	39	-
住宅セグメント	729	333	396	758	29	4.0%
住宅	706	320	386	725	19	2.7%
建材	23	12	11	33	10	43.5%
ヘルスケアセグメント	522	343	179	580	58	11.2%
医薬・医療	218	136	83	283	65	29.7%
クリティカルケア	303	207	96	297	-6	-2.1%
その他	41	17	24	25	-16	-39.2%
消去又は全社	-325	-146	-179	-297	28	-
合 計	2,026	1,131	895	2,105	79	3.9%

# 重要な経営指標の推移

- ▶ さまざまな経営環境の変化等による利益の減少に加え、M&A等成長のための投資に伴う資金調達の増加、利益成長に伴う自己資本や投下資本の増加により、2020年度まではROE、ROICともに減少傾向だったが、2021年度は利益の回復に伴い改善
- ▶ 営業利益の持続的成長と併せて、資本効率向上も追求し、新中期経営計画の目標達成を目指す



- 2021年度の1株当たり年間配当金は34円に決定、前中期経営計画3年間（2019～2021年度）累計の配当性向は41.0%
- 2022年度の年間配当は36円を予想、業績等を見ながら自己株取得も含め更なる還元拡充を検討する



## 株主還元方針

- 1 中期的なFCFの見通しから、株主還元の水準を判断する
- 2 配当による株主還元を基本とし、1株当たり配当金の維持・増加を目指す
- 3 配当性向30～40%（中計3年間累計）を目安とし、配当水準の安定的向上を図る
- 4 自己株取得は資本構成適正化に加え、投資案件や株価の状況等を総合的に勘案して検討・実施する



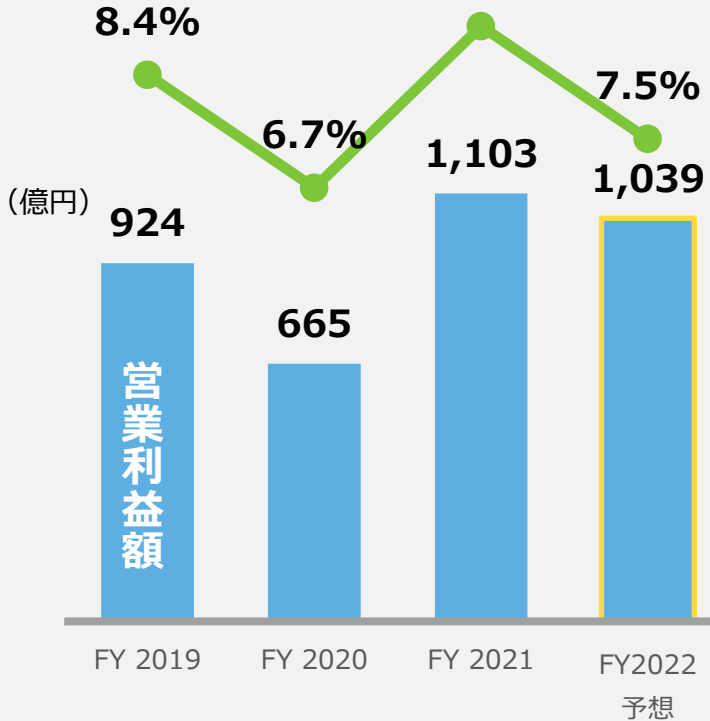
# 3. 参考資料

# Management KPI 推移\*1

ROIC\*2

FY 2021  
6.7%

営業利益率

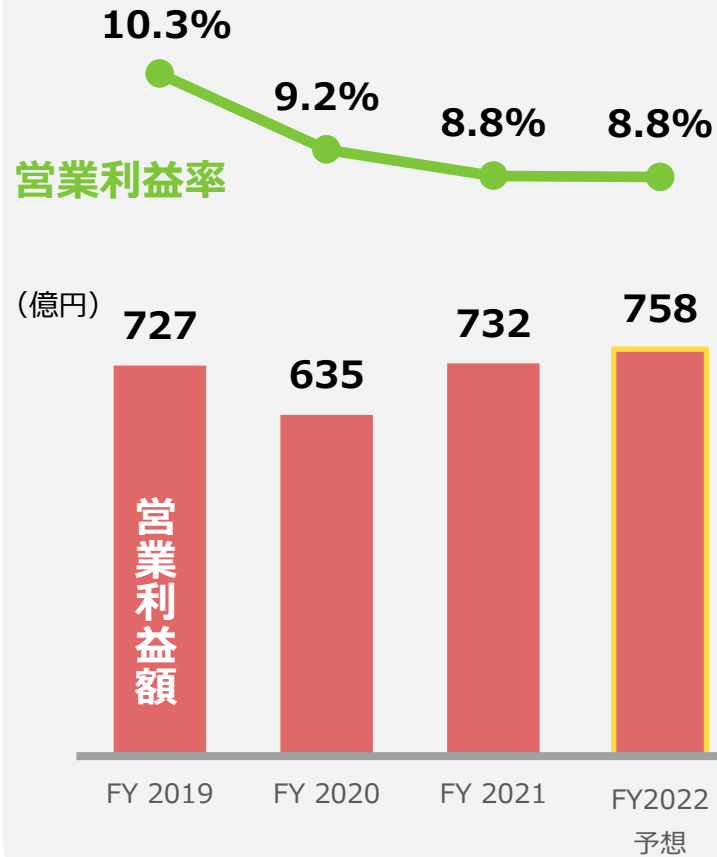


マテリアル

売上高FCF率

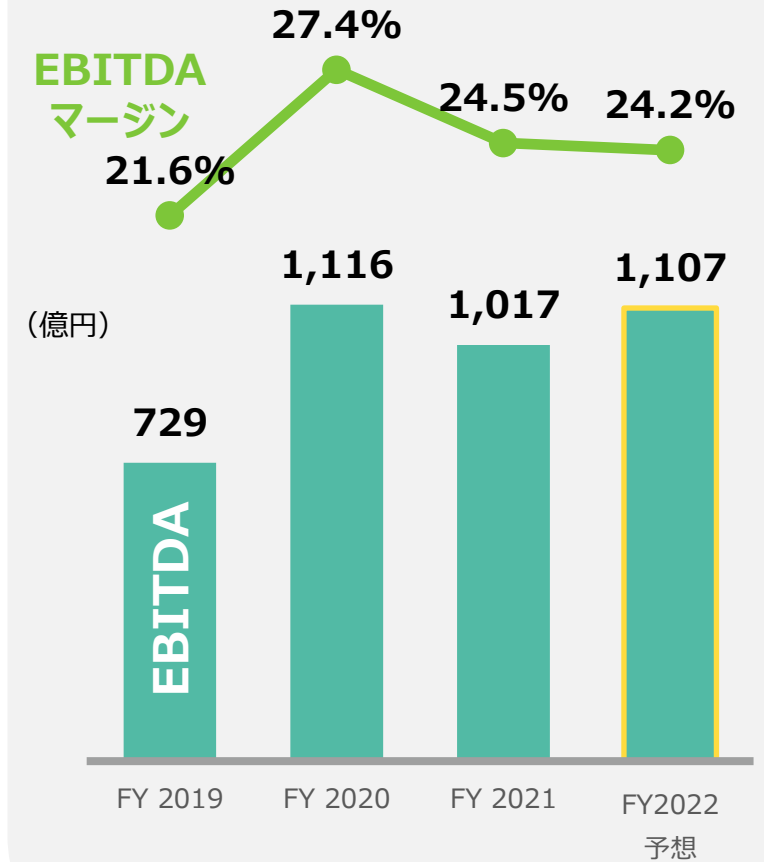
FY 2021  
4.5%

営業利益率



住宅

ROIC\*2

FY 2021  
6.2%EBITDA  
マージン

ヘルスケア

\*1 2019年度～2021年度については開示区分の変更（P21参照）を反映していない。

\*2 ROIC = 営業利益 \* (1 - 税率) / (固定資産 + 運転資本等)

# マテリアルセグメント（売上高・営業利益①）

(億円)

売上高	2020年度	2021年度	前期比 増減額	前期比 増減率
<b>マテリアルセグメント</b>	<b>9,912</b>	<b>11,982</b>	<b>2,070</b>	<b>20.9%</b>
基盤マテリアル事業	2,689	3,661	973	36.2%
パフォーマンスプロダクツ事業	3,756	4,607	851	22.7%
スペシャルティソリューション事業	3,072	3,326	254	8.3%
マテリアル共通	396	388	-8	-1.9%

営業利益	2020年度	2021年度	前期比 増減額	前期比 増減率
<b>マテリアルセグメント</b>	<b>665</b>	<b>1,103</b>	<b>438</b>	<b>65.9%</b>
基盤マテリアル事業	140	412	273	194.9%
パフォーマンスプロダクツ事業	186	338	152	81.4%
スペシャルティソリューション事業	348	381	33	9.5%
マテリアル共通	-10	-29	-19	-

## 営業利益増減の主な要因 (2021年度 vs 2020年度)

### 基盤マテリアル事業：増益

- (+) 原料価格上昇に伴う在庫受払差
- (+) ANの取引条件改善

### パフォーマンスプロダクツ事業：増益

- (+) 自動車関連市場向け各製品における販売数量増加
- (+) 衣料関連市場向け繊維製品における販売数量増加

### スペシャルティソリューション事業：増益

- (+) 半導体市況活況を背景とした電子材料製品の販売数量増加
- (-) セパレータ事業における原材料価格、物流費等の上昇

# マテリアルセグメント（売上高・営業利益②）

(億円)

売上高	2021年度 ＜組替後＞			2022年度 予想	前期比 増減額	前期比 増減率
		上期	下期			
<b>マテリアルセグメント</b>	<b>12,100</b>	<b>5,759</b>	<b>6,341</b>	<b>13,930</b>	<b>1,830</b>	<b>15.1%</b>
環境ソリューション事業	5,226	2,482	2,745	6,200	974	18.6%
うち 基盤マテリアル事業	3,348	1,547	1,801	4,140	792	23.6%
モビリティ&インダストリアル事業	3,221	1,518	1,703	3,700	479	14.9%
ライフイノベーション事業	3,646	1,756	1,890	4,020	374	10.3%
マテリアル共通	7	3	4	10	3	42.1%

営業利益	2021年度 ＜組替後＞			2022年度 予想	前期比 増減額	前期比 増減率
		上期	下期			
<b>マテリアルセグメント</b>	<b>1,060</b>	<b>585</b>	<b>474</b>	<b>1,039</b>	<b>-21</b>	<b>-1.9%</b>
環境ソリューション事業	489	289	200	423	-66	-13.4%
うち 基盤マテリアル事業	354	190	164	247	-107	-30.3%
モビリティ&インダストリアル事業	258	132	125	238	-20	-7.6%
ライフイノベーション事業	348	191	157	374	26	7.3%
マテリアル共通	-35	-27	-8	4	39	-



## 住宅セグメント (売上高・営業利益)

(億円)

売上高	2020年度	2021年度			前期比 増減額	前期比 増減率	2022年度 予想	前期比 増減額	前期比 増減率
			上期	下期					
<b>住宅セグメント</b>	<b>6,926</b>	<b>8,334</b>	<b>3,981</b>	<b>4,352</b>	<b>1,407</b>	<b>20.3%</b>	<b>8,650</b>	<b>316</b>	<b>3.8%</b>
住宅事業	6,448	7,865	3,758	4,107	1,417	22.0%	8,250	385	4.9%
建築請負部門	3,947	4,035	1,890	2,145	89	2.2%	4,120	85	2.1%
不動産部門	1,701	1,825	860	965	125	7.3%	1,910	85	4.7%
リフォーム部門	529	525	267	257	-5	-0.9%	570	45	8.7%
海外事業他*1	272	1,481	740	740	1,209	-	1,650	169	11.4%
建材事業	478	468	223	245	-10	-2.2%	400	-68	-14.5%

営業利益増減の主な要因  
(2021年度 vs 2020年度)

## 住宅セグメント：増益

- (+) 海外事業の堅調な推移（北米事業の伸長、豪州事業の新規連結）
- (+) 建築請負部門における物件の大型化・高付加価値化による平均単価上昇
- (-) 建築請負部門における引渡棟数減少

営業利益	2020年度	2021年度			前期比 増減額	前期比 増減率	2022年度 予想	前期比 増減額	前期比 増減率
			上期	下期					
<b>住宅セグメント</b>	<b>635</b>	<b>732</b>	<b>333</b>	<b>398</b>	<b>96</b>	<b>15.1%</b>	<b>758</b>	<b>26</b>	<b>3.6%</b>
住宅事業	597	706	320	386	110	18.4%	725	19	2.7%
建築請負部門	319	364	141	223	46	14.3%	377	12	3.3%
不動産部門	221	197	96	101	-23	-10.6%	203	6	2.9%
リフォーム部門	45	52	26	27	7	15.0%	58	6	11.0%
海外事業他*1	12	92	57	35	80	-	87	-5	-5.2%
建材事業	37	25	13	12	-12	-32.2%	33	8	29.9%

\*1 2021年度第1四半期より、豪州McDonald Jones Homes Pty Ltd及びその連結子会社の業績を含めている。

# 住宅セグメント（受注高、売上高の推移）

➤ 2021年度の請負受注高は、COVID-19感染拡大の影響を大きく受けた前期に対し、17.7%の増加となった。

（単位：億円、（ ）内は対前年同期比）

	請負受注高	建築請負部門売上高				不動産部門売上高				リフォーム 部門売上高	海外事業 他 <sup>*2,3</sup>	連結計	受注残	
		戸建	集合	他 <sup>*1</sup>	合計	分譲	賃貸	他	合計					
19	上期	2,019 (-3.9%)	1,440	439	94	1,973	76	544	23	643	320	113	3,049	5,890
	下期	1,984 (-17.8%)	1,469	623	92	2,184	280	568	28	876	294	90	3,444	5,782
	通期	4,003 (-11.3%)	2,909	1,062	186	4,157	355	1,112	51	1,519	613	204	6,493	
20	上期	1,453 (-28.1%)	1,328	469	81	1,878	309	581	21	910	258	98	3,144	5,438
	下期	1,813 (-8.6%)	1,366	611	92	2,069	111	608	71	790	272	174	3,304	5,275
	通期	3,266 (-18.4%)	2,693	1,080	174	3,947	420	1,189	91	1,701	529	272	6,448	
21 <sup>*4</sup>	上期	2,063 (42.0%)	1,274	510	106	1,890	205	625	31	860	267	740	3,758	5,635
	下期	1,780 (-1.8%)	1,423	606	116	2,145	247	646	72	965	257	740	4,107	5,333
	通期	3,843 (17.7%)	2,697	1,116	222	4,035	452	1,271	102	1,825	525	1,481	7,865	
22	通期予想	4,404 (14.6%)				4,120	420	1,360	130	1,910	570	1,650	8,250	5,846

\*1 一部分譲、ケア工事等。（2019年度より、従来販管費で計上していたケア工事収入を売上高に含めている。）

\*2 2018年度第4四半期より、米国Erickson Framing Operations LLC及びその連結子会社の業績を含めている。

\*3 2021年度第1四半期より、豪州McDonald Jones Homes Pty Ltd及びその連結子会社の業績を含めている。

\*4 2021年度より「収益認識に関する会計基準」を適用し、一部の取引において売上高及び売上原価の計上基準を変更している。ただし、受注残については旧基準ベースで算出した金額を表示している。

# 住宅セグメント（受注高、受注戸数、引渡戸数の状況\*1）

## 2021年度実績

（右欄：前期比）

	受注高（億円）		受注戸数（戸）		引渡戸数（戸）*2	
戸建系	2,647	10.1%	7,079	5.8%	7,938	-4.7%
集合系	1,196	38.8%	6,235	15.8%	6,859	-3.6%
その他（分譲）	-	-	-	-	92	217.2%
建築請負部門合計	3,843	17.7%	13,314	10.3%	14,889	-3.8%

## 2022年度予想

（右欄：前期比）

	受注高（億円）		受注戸数（戸）		引渡戸数（戸）*2	
戸建系	2,950	11.4%	7,870	11.2%	7,570	-4.6%
集合系	1,454	21.6%	7,220	15.8%	6,610	-3.6%
その他（分譲）	-	-	-	-	50	-45.7%
建築請負部門合計	4,404	14.6%	15,090	13.3%	14,230	-4.4%

\*1 受注高、受注戸数、引渡戸数、いずれも国内のみ。

\*2 2021年度より「収益認識に関する会計基準」を適用し、一部の取引において売上高及び売上原価の計上基準を変更している。これに伴い、従来開示していた「売上戸数」を、「引渡戸数」として開示している。  
なお、「引渡戸数」は売上高に連動しない。

## ヘルスケアセグメント（売上高・営業利益）

(億円)

売上高	2020年度		2021年度		前期比 増減額	前期比 増減率	2022年度 予想	前期比 増減額	前期比 増減率
	上期	下期	上期	下期					
ヘルスケアセグメント	4,079	4,159	2,059	2,100	80	2.0%	4,580	421	10.1%
医薬・医療事業	1,544	1,742	853	888	198	12.8%	1,940	198	11.4%
医薬事業	811	933	448	486	122	15.0%	1,065	132	14.1%
医療事業	733	808	406	403	76	10.3%	875	67	8.2%
クリティカルケア事業	2,535	2,417	1,205	1,212	-118	-4.6%	2,640	223	9.2%
営業利益	2020年度		2021年度		前期比 増減額	前期比 増減率	2022年度 予想	前期比 増減額	前期比 増減率
	上期	下期	上期	下期					
ヘルスケアセグメント	676	522	343	179	-154	-22.8%	580	58	11.2%
医薬・医療事業	230	218	136	83	-11	-5.0%	283	65	29.7%
クリティカルケア事業	446	303	207	96	-143	-32.0%	297	-6	-2.1%
EBITDA	2020年度		2021年度		前期比 増減額	前期比 増減率	2022年度 予想	前期比 増減額	前期比 増減率
	上期	下期	上期	下期					
ヘルスケアセグメント	1,116	1,017	577	441	-99	-8.8%	1,107	90	8.8%
医薬・医療事業	421	426	236	190	4	1.0%	493	67	15.8%
クリティカルケア事業	694	592	341	251	-103	-14.8%	614	22	3.8%

営業利益増減の主な要因  
(2021年度 vs 2020年度)

## 医薬・医療事業：減益

- (+) 骨粗鬆症治療剤「テリボン」を中心とした医薬品の販売数量増加
- (+) ウイルス除去フィルター「プラノバ」の販売数量増加
- (-) ライセンス導入費用等の販管費増加

## クリティカルケア事業：減益

- (+) 除細動器および着用型自動除細動器「LifeVest」の好調な推移
- (+) Respicardia買収に伴う会計処理影響
- (-) 人工呼吸器の販売数量減少

## ヘルスケアセグメント（医薬事業の主要医薬品売上高）

(売上高の対象地域、単位)	2020年度			2021年度			前期比 増減額	前期比 増減率
	上期	下期	年間	上期	下期	年間		
<b>&lt;旭化成ファーマ&gt;</b>								
テリボン (国内、億円)	143	168	310	186	196	382	72	23.1%
リコモジュリン ( " )	48	47	94	45	42	87	-7	-7.7%
ケブザラ ( " )	24	29	53	35	38	73	20	37.2%
リクラスト ( " )	6	7	13	6	6	13	-0	-0.7%
プラケニル ( " )					27	27	27	
<b>&lt;Veloxis&gt;</b>								
Envarsus XR (米国、百万ドル)	60	62	122	67	75	142	20	16.6%

一般名	薬効・分類	適応症	剤型
テリボン	テリパラチド酢酸塩 骨粗鬆症治療剤（副甲状腺ホルモン：PTH）	骨折の危険性の高い骨粗鬆症	注射剤
リクラスト	ゾレドロン酸水和物 骨粗鬆症治療剤	骨粗鬆症	注射剤
リコモジュリン	トロンボモデュリンアルファ（遺伝子組換え） 血液凝固阻止剤	DIC（汎発性血管内血液凝固症）	注射剤
ケブザラ	サリルマブ（遺伝子組換え） 関節リウマチ治療剤	既存治療で効果不十分な関節リウマチ	注射剤
プラケニル	ヒドロキシクロロキン硫酸塩 免疫調整剤	皮膚エリテマトーデス、全身性エリテマトーデス	錠剤
Envarsus XR	タクロリムス徐放製剤 免疫抑制剤	腎移植	錠剤

## ヘルスケアセグメント（医薬事業の研究開発状況）

		開発コード・剤型 (一般名)	薬効・分類	適応症	地域	自社/導入	備考
	申請中	A K 1 8 2 0・注、カプセル (イサブコナゾニウム硫酸塩)	深在性真菌症治療剤	真菌症	日本	導入	
国	フェーズⅡ	A R T - 1 2 3・注 (トロンボモデュリン アルファ (遺伝子組換え) )	血液凝固阻止剤	化学療法誘発性 末梢神経障害	日本	自社	効能追加 日米共同フェーズⅠ 実施中
内	フェーズⅡ	A K 1 8 3 0・経口	慢性疼痛治療剤	変形性関節症に伴う 疼痛	日本	導入	
	フェーズⅡ			慢性腰痛症に伴う 疼痛			
海	申請中	H E - 6 9・錠 (ミゾリビン)	免疫抑制剤	ループス腎炎 ネフローゼ症候群	中国	自社	効能追加
外	フェーズⅢ	A R T - 1 2 3・注 (トロンボモデュリン アルファ (遺伝子組換え) )	血液凝固阻止剤	凝固異常を伴う 重症敗血症	米国・欧州 他	自社	

## 探索・基礎研究

成熟化・高齢化社会の中で、健康で快適な生活を送りたいという人びとの願いに応えるために、整形外科や救急・集中治療などの領域を中心に「未だ有効な治療方法がない医療ニーズ（アンメットメディカルニーズ）」の解決に取り組んでいます。自社技術の絶えざる革新と、世界の優れた技術とのコラボレーションを積極的に推進し、世界に通用する新薬の創出を進めています。

# 設備投資額、減価償却費、研究開発費

(億円)

	設備投資額			減価償却費 <sup>*1</sup>			研究開発費		
	2020年度	2021年度	2022年度 予想	2020年度	2021年度	2022年度 予想	2020年度	2021年度	2022年度 予想
マテリアルセグメント	1,005	1,208	1,320	590	637		328	338	
基盤マテリアル	262	386		127	127		28	25	
パフォーマンスプロダクト	328	340		220	233		128	140	
スペシャルティソリューション	414	482		243	277		169	171	
マテリアル共通	0	-		0	0		4	2	
住宅セグメント	187	186	210	112	138		34	37	
住宅	153	157		87	115		29	31	
建材	33	29		25	23		5	6	
ヘルスケアセグメント	159	249	260	311	345		392	474	
医薬・医療	77	136		170	184		192	247	
クリティカルケア	83	112		141	161		199	227	
その他	8	35	10	15	16		1	1	
消去又は全社	178	189	270	55	61		142	137	
合 計	1,537	1,866	2,070	1,084	1,197	1,290	897	987	1,070

(参考) のれん償却額

249	284
-----	-----

\*1 有形固定資産、無形固定資産（除く、のれん）の償却額を合算した金額で開示している。



# 主な設備投資案件

セグメント	サブセグメント	設備投資件名	稼働／完工 予定時期	能力	立地
マテリアル	環境ソリューション	水力発電所改修（五ヶ瀬川発電所）	2021年度下期	—	宮崎県西臼杵郡
		リチウムイオン電池用セパレータ「ハイポア」の生産能力増強	2022年度	約3億㎡／年	滋賀県守山市
			2023年度上期	約3.5億㎡／年	宮崎県日向市
	リチウムイオン電池用セパレータ「セルガード」の生産能力増強	2022年度以降	約1億5,000万㎡／年	米国ノースカロライナ州	
	モビリティ&インダストリアル	樹脂コンパウンド工場建設	2021年度上期	2.8万トン／年	中国江蘇省
		人工皮革「ラムース」の生産設備増設	2022年度上期	約400万㎡／年	宮崎県延岡市
	ライフイノベーション	スパンボンド不織布の生産設備増設	2022年度上期	1.5万トン／年	タイ国チョンブリ県
結晶セルロース「セオラス」工場建設		2023年度上期	—	岡山県倉敷市	
ヘルスケア	医薬・医療	ウイルス除去フィルター「プラノバBioEX」の紡糸能力増強	2022年度下期	—	大分県大分市

# トピックス（2021年4月以降）

## 成長に向けた投資（GG10関連）

- ◆ 豪州の住宅会社McDonald Jonesの株式を追加取得する契約を締結。（4月）連結子会社化。（6月）
- ◆ ZOLLによる米国医療機器メーカーRespicardia, Inc.買収。（4月）
- ◆ 旭化成ファーマによる免疫調整剤「プラケニル錠200mg」の日本における販売に関するライセンス契約締結。（7月）
- ◆ 旭化成メディカルによるウイルス除去フィルター「プラノバBioEX」の紡糸能力の倍増を決定。（7月）
- ◆ Polyporeによる中国におけるリチウムイオン電池用乾式セパレータの合併会社設立を発表。（9月）
- ◆ ZOLLによるイスラエル医療機器メーカーItamar Medical Ltd.の買収に関する最終合意書締結。（9月）買収を完了。（12月）
- ◆ 米国で戸建住宅の配管工事を行うBrewerを買収。（11月）
- ◆ 旭化成メディカルによる米国マイコプラズマ受託試験会社Bionique Testing Laboratories LLC買収。（12月）
- ◆ 旭化成メディカルによるウイルス除去フィルター「プラノバ」の新組立工場建設を決定。（2月）
- ◆ 旭化成ファーマによる次世代長時間作用型のGLP-2アナログペプチド「apraglutide」に関するライセンス契約締結。（3月）
- ◆ 旭化成メディカルによる次世代抗体医薬品CDMOの米国Bionova Scientific, LLC買収に関する契約を締結。（2022年4月）

### 【凡例】

- ◆ : マテリアル
- ◆ : 住宅
- ◆ : ヘルスケア

## 構造転換や既存事業強化の取り組み

- ◆ アクリルラテックス事業、光触媒塗料事業の撤退および和歌山工場の閉鎖を発表。（5月）
- ◆ スパンデックス事業の構造改革を発表。（8月）
- ◆ スチレン系特殊透明樹脂「アサフレックス」の事業撤退を発表。（8月）

## 経営基盤強化

- ◆ CO<sub>2</sub>を主原料とする高純度カーボネート類製造技術の第1号のライセンス契約締結を発表。（7月）
- ◆ 旭化成ホームズのRE100目標達成を2025年に前倒す見通しを発表。（8月）
- ◆ 低燃費タイヤ向けS-SBRの原料となる廃プラスチックおよびバイオマス由来のブタジエンの購入に関する売買契約を締結。（11月）
- ◆ 東西石油化学によるアジアのANメーカー初となるISCC PLUS認証を取得、バイオマスプロピレンを用いたANの生産開始予定を発表。（1月）
- ◆ バイオマス原料をベースにしたヘキサメチレンジアミンに関する戦略的パートナーシップを締結、バイオマス原料由来のポリアミド66の実用化検討加速を発表。（3月）

# 四半期売上高推移

(億円)

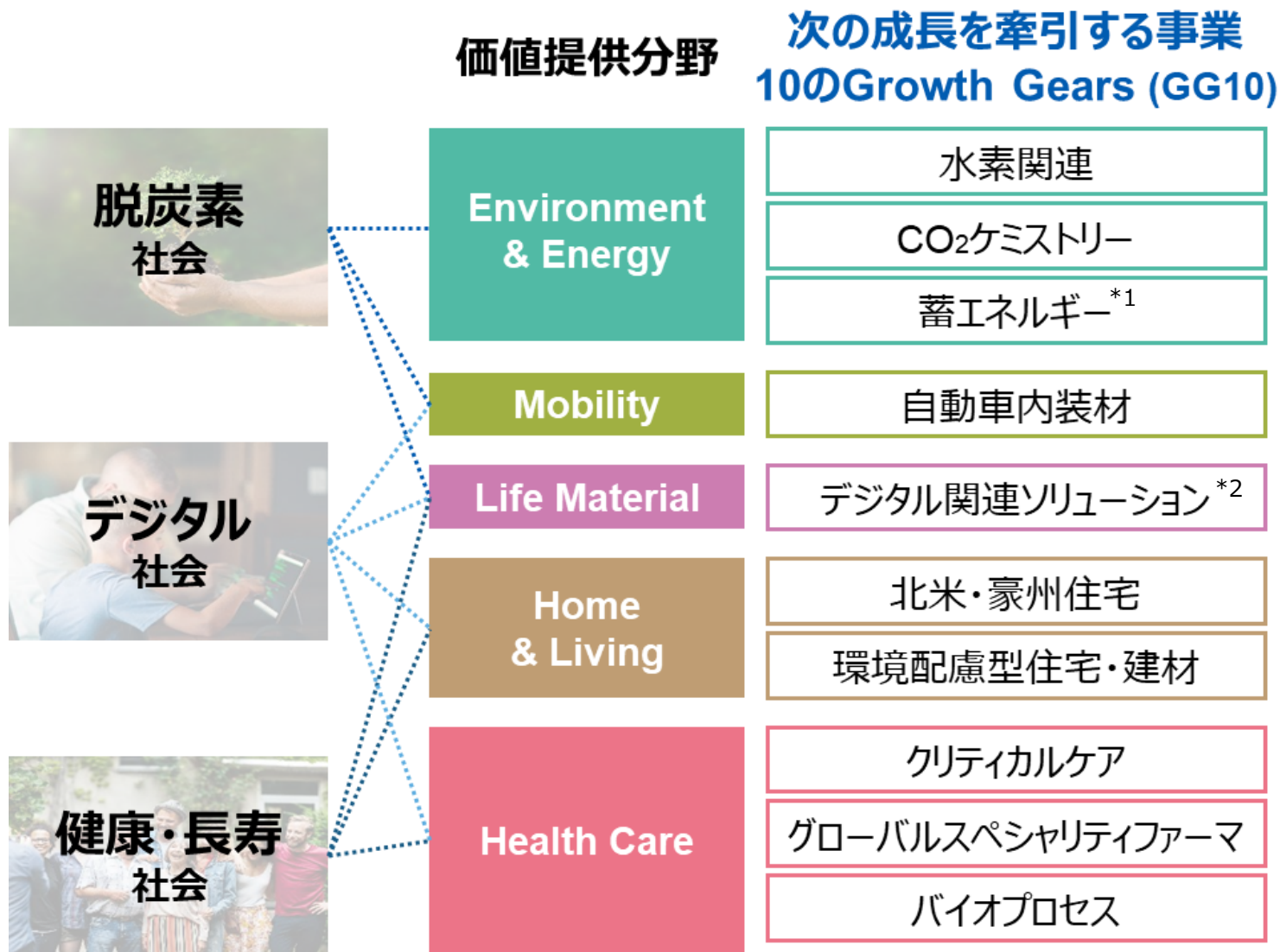
	2020年度				2021年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
<b>マテリアルセグメント</b>	2,047	2,337	2,672	2,856	2,768	2,935	3,121	3,158
基盤マテリアル	575	592	690	832	791	890	987	993
パフォーマンスプロダクツ	682	907	1,075	1,092	1,103	1,105	1,173	1,226
スペシャルティソリューション	700	746	804	821	782	847	860	837
マテリアル共通	90	92	103	111	92	93	102	101
<b>住宅セグメント</b>	1,509	1,878	1,736	1,803	1,976	2,005	2,211	2,141
住宅	1,391	1,753	1,610	1,694	1,872	1,886	2,085	2,022
建材	119	125	126	109	104	119	127	118
<b>ヘルスケアセグメント</b>	957	1,092	1,030	1,000	1,058	1,001	1,070	1,030
医薬・医療	365	378	407	394	428	426	468	421
クリティカルケア	592	714	623	606	630	575	603	609
その他	39	36	34	34	32	35	34	37
<b>合 計</b>	<b>4,552</b>	<b>5,342</b>	<b>5,473</b>	<b>5,694</b>	<b>5,834</b>	<b>5,976</b>	<b>6,437</b>	<b>6,366</b>

# 四半期営業利益推移

(億円)

	2020年度				2021年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
マテリアルセグメント	89	120	219	237	321	286	310	186
基盤マテリアル	-17	18	41	98	101	123	114	74
パフォーマンスプロダクト	14	34	79	60	106	66	97	69
スペシャルティソリューション	78	74	101	95	129	106	98	48
マテリアル共通	14	-7	-1	-16	-15	-9	-0	-5
住宅セグメント	108	209	165	154	152	182	224	175
住宅	98	196	155	148	147	173	213	173
建材	11	13	12	1	4	9	11	2
ヘルスケアセグメント	155	199	204	118	205	138	159	20
医薬・医療	57	51	88	34	76	59	90	-7
クリティカルケア	98	148	117	84	129	78	69	27
その他	7	10	7	14	3	11	7	12
消去又は全社	-58	-71	-68	-100	-76	-89	-90	-106
合 計	301	467	527	423	605	526	609	286

# 新中期経営計画における成長牽引事業（GG10）



\*1 セパレータ事業 等

\*2 電子部品事業、電子材料事業 等

# 注記

- EBITDA = 営業利益 + 減価償却費（有形、無形、のれん）
- 2021年度より「収益認識に関する会計基準」を適用し、一部の取引において売上高及び売上原価の計上基準を変更している。
- 2020年度第1四半期より、米国Veloxis Pharmaceuticals, Inc.の業績を「ヘルスケア」セグメントの「医薬・医療」事業に含めて開示している。
- 2021年度第1四半期より、豪州McDonald Jones Homes Pty Ltd及びその連結子会社の業績を「住宅」セグメントの「住宅」事業に含めて開示している。
- セグメント別の営業利益は各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない。

# AsahiKASEI

昨日まで世界になかったものを。

私たち旭化成グループの使命。

それは、いつの時代でも世界の人びとが“いのち”を育み、

より豊かな“暮らし”を実現できるよう、最善を尽くすこと。

創業以来変わらぬ人類貢献への想いを胸に、

次の時代へ大胆に応えていくために一。

私たちは、“昨日まで世界になかったものを”創造し続けます。

